

学校教育目標 **成長の実感**

- 1 学期は学級づくり**
「聴く」ができるクラス
- 2 学期は行事で鍛える**
表現力, 忍耐力, 協調性
チームワーク, 実行力
- 3 学期は成長の実感**
成長の自覚, 将来への意欲

知 <重点目標>

- 1 学力の向上
達成指標: 期末テスト期待値の105%以上
CRT 全国平均の105%以上
- 2 深い学びの実現
達成指標: 対話活動で自分の考えを深めたり広めたりしている 80%

徳 <重点目標>

- 1 時間を守る
達成指標: チャイムと同時に授業「ベル礼」達成90%以上
- 2 交通ルールを守る
達成指標: 正しいルールで登下校自己評価 95% 以上

体 <重点目標>

- 1 新体力テストの課題克服
達成指標: 全国平均以上の種目
5月50・1月60種目以上
- 2 欠席日数の減少
達成指標: 学期賞取得率 60%
ネットやゲーム9時ストップ80%

- <目標達成のための手段>
- 「聴く」指導の徹底(体を向ける)
 - 学習規律の徹底(4秒礼・PPG)
 - 思考の足あとが残るノート指導(めあて・自分や友達の考え・振り返り)
 - 思考を深める対話活動の充実(ペア or グループトーク, 自己内対話) (「問う」説明, 図や式を示しながら説明)
 - 学級の課題や個に応じたの取組の充実(熊チャレタイム, がん熊タイム, さよなら問題)

- <目標達成のための手段>
- 生徒指導規程に準じた指導(シューズのかかと, シャツIN)
 - 生徒指導三機能を生かした学級づくり(よさを褒める)(自己決定, 自己存在感, 共感的人間関係, 価値付け)
 - 全校で指導を揃える。(無言移動, 無言掃除, 靴そろえ, ハイの返事, 遅刻減少への取組)
 - 効果的な取り出し指導(教室外でクールダウン)

- <目標達成のための手段>
- 体力テストの個人目標値設定
 - 体育の授業の工夫改善(サーキット, 課題のある種目強化)
 - 競技力強化(対外試合に向けた指導, 引率等の協力体制づくり)
 - 健康安全指導の充実
 - 外遊びロング休憩の充実
 - 学期皆勤賞取得への支援
 - ストップ9への取組の充実

- <指定事業等特色ある取組>
- **小学校外国語パワーアップ事業**: 小学校外国語の指導方法の研究及び成果の普及
 - **熊野町学力向上プロジェクト**: 主体的で深い学びに至る授業改善
 - **ユネスコスクール**: 筆づくりの伝統と文化を継承した体験的学習の充実(ESDの実践)(低学年書道科, 筆づくり体験・筆踊り, 和太鼓「筆が舞う」)

<学力の現状>

- 1 学力テストでは, おおむね全国比105%以上達成できている。
- 2 活用力が伸びてきたが知識・技能の定着に課題がある。問題を解くスピードや量が不十分。
- 3 対話活動が考えを深める事に結び付いていない。

<生徒指導の現状>

- 1 気持ちのよい挨拶ができる児童が80%を超えているが, ハイの返事が小さい。
- 2 無言移動は定着してきた。
- 3 ベル礼ができる学級が増加した。
- 4 交通ルールの苦情・遅刻者が減らない。

<体力・運動能力の現状>

- 1 年度当初の新体力テストでは, 全国平均以上の種目は40種目程度である。年度末には60種目以上にはなっている。
- 2 ここ数年, 年間無欠席児童数は190人前後で推移。

読む子
たくさん本を読む(くまどく)

遊ぶ子
外でたっぷり遊ぶ

食べる子
三食しっかり食べる

くまいちスタイル（統一感ある教育）

くまいちスタイル4本の柱

1 学習規律の徹底と生徒指導の統一

(1) 学習規律

- ★チャイムと同時に授業スタート、チャイムで必ず授業終了（延長なし）
- ★授業の始まりと終わりは、起立して**4秒礼**（教師は児童の礼を確認した後に礼）
- ★学習の基本姿勢は**PPG**、「聴く」時は話す人に体を向ける
- ★「はい」の返事、発言はきちんと挙手して
- ★文字は丁寧に、線は定規でまっすぐに、絵や図も使って、大事なところは色を変える
- ★ノートは1時間が見開きとなることを基本として指導

(2) 生徒指導

- ★生徒指導の三機能をいかした学級づくり（自己決定、自己存在感、共感的な人間関係）
- ★生徒指導規定に基づく指導（制服着用、シャツin、かかと踏まない）
- ★**無言異動、無言掃除**の徹底
- ★おじぎをそえた挨拶（レベル5の挨拶）
- ★靴は揃えて靴箱に
- ★いじめ等問題行動の未然防止（早期発見、早期解決、組織的な対応）

2 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境づくり

(1) 教室環境

- ★**整理整頓**（机いすのならば方、机上・ロッカーの整頓、片付け方のモデル図提示）
- ★視覚刺激軽減のため**シンプル**な前面掲示（書庫はカーテン）

(2) 「熊一小授業スタンダード」（担任や学年がかわっても、基本の学習スタイル）

- ★板書はノート指導に対応し構造的に、**めあては青、まとめは赤**で囲む（ものさし使用）
- ★基本の授業スタイル
（算数㊟：めあて→自力解決→対話による練り上げ→まとめ→適用問題→振り返り）
- ★ホワイトボードなどを活用し授業の流れを**視覚化**する（見通し）

(3) 教師の指示

- ★指示は簡潔に、具体的に
- ★指示と評価はセットで（指示を出す、**できたら褒める**）「価値付け、意味付け」

3 ユネスコスクール等の取組によるグローバル感覚の育成

(1) 低学年書道科（1，2年生，年間15時間）

(2) 「筆づくり体験」・「筆踊り」の伝承（4年生）**創作和太鼓**「筆が舞う」の取組（6年生）

(3) 小学校外国語パワーアップ事業指定校（くまの英語検定）

4 学力と体力向上の取組

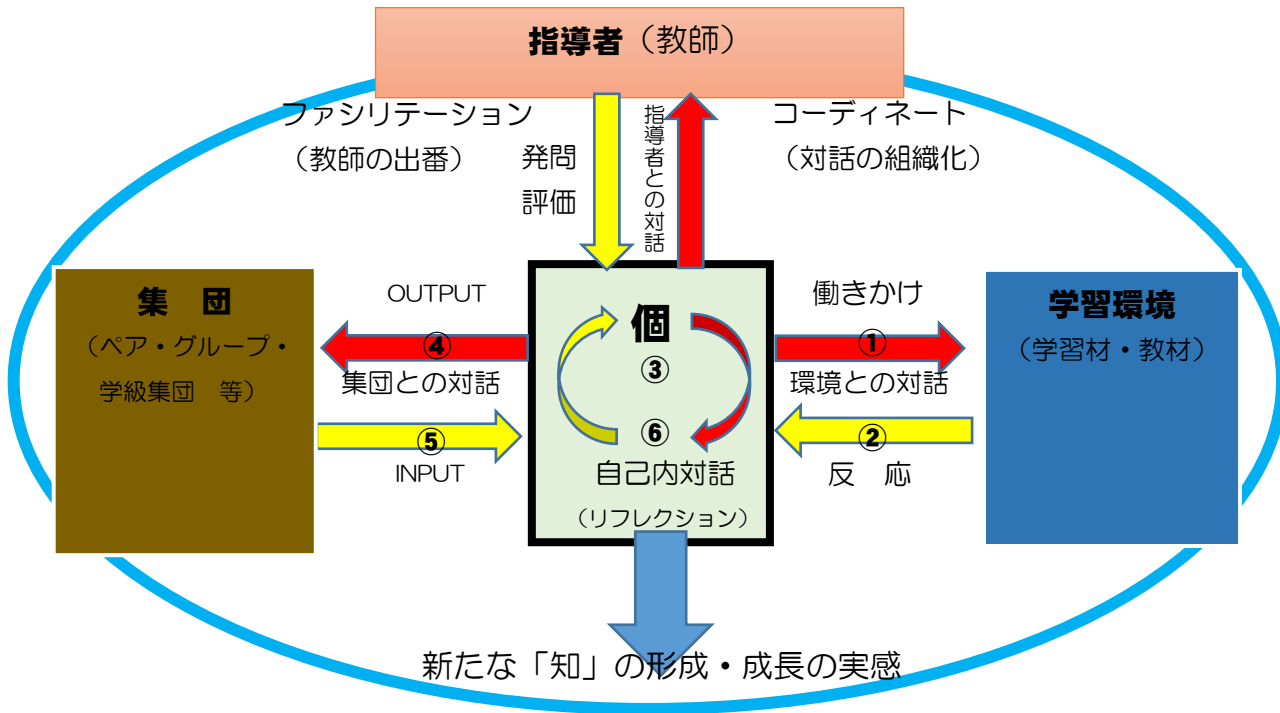
(1) めあてと振り返りの充実

- ★めあては1時間のゴールの姿「～することができる」で示す
- ★振り返り（自分の学び、友達のよさ、思考の深まり、達成感、意欲の向上）

(2) 主体的で対話的で深い学びの実現

- ★書く活動の充実（がん熊ノート指導，ワークシート）
- ★考える視点・考える道具を与える（具体物，ヒントカード，思考ツール，資料，ICT活用，比較，分類，関連付け）
- ★対話活動，表現活動の充実（ペアやグループトーク，問う説明）

「個の学びと対話」の構造的分析



(3) 基礎的・基本的な「知識・技能」の習得

- ★熊チャレ・がん熊タイムの充実
（百マス計算，フラッシュカード，プリント学習，さよなら問題）

(4) 体力運動能力の向上

- ★新体力テスト課題種目の重点指導
- ★外遊びロング昼休憩の効果的活用
- ★無欠席児童の表彰（学期賞，皆勤年間皆勤賞）